

会議結果のお知らせ

1. 開催した会議の名称

第3回 花巻市環境基本計画策定市民エコワーキンググループ会議

2. 開催日時

日時 平成27年10月2日（金）、午前9時30分～午前11時13分

3. 開催場所

花巻市生涯学園都市会館 3階第1会議室

4. 参加者数

市民エコワーキンググループ18名中、13名出席

5. 議題及び内容

(1) 現計画における取り組みの成果と課題

現計画における取り組みの成果と課題について、事務局より説明。

(2) 次期花巻市環境基本計画（案）の概要

次期計画（案）の概要と策定の進行状況を事務局より説明。

(3) テーマ「10年後の花巻市の環境イメージについて」

「10年後の花巻市の環境イメージ」をテーマに、一人ずつ発言をいただき、今回で最終回となる市民エコワーキンググループ会議のまとめとした。

6. 「10年後の花巻市の環境イメージ」についての主な発言内容

- ・早池峰のエコパークがユネスコに認定されればいいなと思う。合併浄化槽・下水道の整備が終わって、花巻温泉郷、花巻南温泉峡の川への垂れ流しが改善されればよいと思う。環境教育を使って子供たちの理科離れを止めたい。子供たちの野外活動の拠点があったらいいと思う。県立自然公園は、花巻温泉郷と花巻南温泉峡と豊沢ダムまでだが、それを水源地のブナ林まで広げて、観光も含め、訪れる人たちが増えればいいなと思う。里山に木を植えて、熊やシカが里に出づらいうような環境に、10年後になっていけばいいなと思う。小水力発電をもう少し導入して、自然エネルギーの導入が進めばいい。公共工事における環境アセスメント。県は行っているが、市はしていない。花巻市における公共工事でも環境アセスメントを実施していただければ、サワガニとか小動物が守れるのではないかな。
- ・きれいな空ときれいな空気、やすらぎのあるまちなみ、語らいと笑顔のあるまちづくりを目指す。
- ・子供たちのふれあい活動の中で、地域の自然環境について理解を深める機会の提供が重要だと思う。子供たちが安全でいろいろな人とかかわりあい、発見・共感・感動のある自然に対する豊かな知識を育み、やがて、イーハトーブはなまきに根差した大人になればいいなと思う。

- 弱者にも優しい環境であればと思う。一人ひとりがあいさつから始まるおだやかな生活ができる家庭・地域であってほしい。自分ができることからやっっていこうと思っている。
- 環境については少なくとも現状が 10 年後もあまり悪くならないことが望ましい。花巻市って何が一番環境にいいことをしているかを出してほしい。例えば、自転車の走る量を増やすとか、「花をいっぱい植えているのが花巻なんだ」とか、何か一つ、ほかの地域の人から見て「あれはすごい」ということをやってほしい。
- 耕作放棄地の活用方法が見つからなければ、所有者の考え方もあると思うが、せめて下草の刈り取りだけでもやって見通しのよい雑木林を育てていくことが一つの方法ではないか。早池峰山麓は、登山道が主流で整備されているが、身近に観察できる環境は整っていないと思う。岳地区周辺の資源を活用して笠爪キャンプ場を起点とした遊歩道でも作っていただければ、もっと自然に親しむ機会がふえると思う。早池峰山麓の植物の保護について。市有林に 50 本前後、ナンブシダレカツラが植えてある。ここ十数年手入れがされておらず、広葉樹に覆われ弱体化する怖れがある。これからも保存していただくようお願いしたい。
- エコドライブについて。ほかの人から「エコドライブについて知らない。何がエコなのか」と言われた。エコドライブについて、実施してほしい。実施されれば 10 年後にはかなりの CO₂ 削減がされると思う。それと、年を取り歩けなくなると行き場がない。今に、自動車が運転できなくなると、行き場がなくなる。近くに歩いていけるところ、コミュニケーションの場があれば、電気代もかからないし、そういう所があればいいなと思う。
- 自然の中で子供たちが遊んで、遊び声が聞こえる花巻であってほしい。そのためにも、早池峰のエコパークから自然に対して子供たちが親しむ環境づくりを。私は藪がすごく貴重だと思う。その中から資源を取って生きてきた。藪の大切さをまだ伝えられる大人がいるうちに、伝えておくことが大切なのではないか。将来的に、この場所から、世界的な学者が生まれるようなところだと思うので、とにかく平地から子供たちの声が途絶えないようにあってほしい。
- 地域の方々には地域を守る。それが基本であって、地域の方々には行政の方から何かアイデアとしてもらえれば、「やるか」ということになる。
- 環境は人間のための環境ではない。環境とは、生き物がすべてその場所で生きていけること。それができれば、人間はこんなことをしなくてもよい。昔は堰で、そこにはいろいろな生物がいた。湿地帯があって、そこにはいろいろなものがあって、それが環境だと思う。そのような時代にもどせるのであれば、花巻もいい暮らしにもどれるかと思う。
- 公共下水道の整備がだいぶ進んで豊沢川に入ってくる水もだいぶきれいになった。6 月には水道企業団と改良区で植樹祭をして、交流会もした。そのときに、山は何のためにあるか子供たちに教えた。8 月にも河川清掃をした。モノをあげるだけではなくて、何のために河川清掃をするのか教えた。10 年後には志戸平温泉、花巻温泉までサケが登っていけるような環境になってくれれば素晴らしいと思う。行政が主催して、そのような場を皆さんに作ってくれたらと思う。
- きれいな空気とみどり豊かな自然、安らぎのある暮らしを次世代に
- 今後、花巻に日本の企業が誘致されないだろう。花巻は人件費が高い。例えば、中国と

かベトナムやミャンマーの方に企業は行ってしまおうと思う。そのような中で、花巻はどのように生きていけばよいか。やっぱり環境を売り物にしてみてもどうか。ニュージーランドなんかは民宿に1泊して1万5千円くらいだった。大迫みたいな世界で一番美しい村というドイツの村に泊まったが、ウイスキーや葡萄酒のようなものを作っている農家が民宿をしている。エコツーリズムみたいな、そんなことをする市になっていかなければいけないのではいか。就職先に生産効率求めた企業を望むのは、どちらかというところマイナスの発想。そういう意味では観光とか環境とかものづくりでも、どのようなものがベストなのかということを考える頭を持った教育が必要ではないか。花巻も将来栄えていくためには人づくりが必要。そのような中で、子供たちの理科教育をどうすればよいか。土にも触らない、川にも入らない、デパートが遊び場だという思考が、今の子供たちの環境意識を損ねていると感じる。

7. 問い合わせ先

花巻市花城町9番30号 市民生活部生活環境課

電話番号：0198-24-2111（内線255）